

CSS3 - 追加されたプロパティ

CSS3 で新たに追加された他のプロパティを学習します

新しく追加されたプロパティ

フレキシブルボックスの他に、CSS3 となり新しく追加された便利なプロパティがあります。制作の中でうまく使えば、作業時間が短縮されたりと便利になった部分が沢山ありますので、今回は新たに追加されたプロパティを取り上げます。

opacity: 値 数値の指定 0 - 1 までの値

要素の不透明度の指定

example - HTML

```
<div class="wrap">
  <h2> ランチの紹介 </h2>
  <h2> ディナーの紹介 </h2>
</div>
```

example - CSS

```
.wrap{
  opacity: 0.5;
}
```

opacity は要素の不透明を指定します。0~1 までの数値を入力し、サンプルでは 0.5 つまり要素の不透明度を 50% にしています。子要素は親の不透明度を引き継ぐので、wrap クラスの不透明度を変更すると、wrap クラス内の要素はすべて不透明度は変更され、子要素のみ不透明度を上げることは出来ません。

background-image: url(),url()...

複数の背景画像の指定

example - CSS

```
.wrap{
  background-image: url("../img/picA.jpg"),
  background-image: url("../img/picB.jpg")
}
```

1 つの要素に対して複数の背景画像を指定することが可能になりました。カンマ (,) を使って指定することで複数の指定が可能です。複数の指定をするにあたり、background-position や background-repeat など複数指定する必要があります。背景画像が重なって表示される場合は、先に記述を書いたものが上に表示されます。

background-size: 値

背景画像の大きさの指定

値	意味
auto（初期値）	画像固有の比率が維持されます。
値（%）	1つの場合は幅を指定、2つ目の値で高さを指定します。
cover	背景画像の領域と同じ幅か高さを持つことが保証される範囲で小さくする。
contain	背景画像の領域と同じ幅か高さを持つことが保証される範囲で大きくする。

example - CSS

```
.wrap{
    background-image: url("../img/picA.jpg");
    background-size: contain;
}

.container{
    background: url("../img/main.jpg") left top/cover;
}
```

背景画像の表示サイズを変更します。画像サイズが要素よりも小さい（大きい）場合、引き伸ばしをしたり、縮めたりすることが可能です。background のショートハンドとして記載する場合は、background-position の値の後にスラッシュ（/）で記載します。

box-shadow: 場所 横 縦 ぼかし 色

要素に対してドロップシャドウ効果をつける

値	意味
inset	ドロップシャドウの値を内側に指定します。記載無しの場合は外側

example - CSS

```
.wrap{
    box-shadow: 1px 1px 3px #000;
}

.container{
    box-shadow: inset -2px 1px rgba(0,0,0,0.5);
}
```

要素に対してドロップシャドウを指定します。記述順に指定はありません。inset と指定することで、内側にドロップシャドウを指定することも可能です。

text-shadow: 横 縦 ぼかし 色

文字に対してドロップシャドウ効果をつける

example - CSS

```
.wrap{
    text-shadow: 1px 1px 1px #000;
}
```

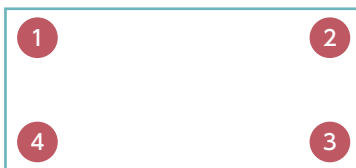
文字に対してもドロップシャドウを指定することが可能です。box-shadow と同じ様に指定が可能です。外側・内側の指定はありません。

border-radius: 値

要素に対して角の丸みをつける

example - CSS

```
.wrap{
    border-radius: 10px;
}
.container{
    border-radius: 10px 20px 15px 5px;
}
```



border-radius: 1 2 3 4

要素の角に対して、値の直径分の角を丸くすることが可能です。すべての角の値を 100% に指定すると、最大値になり、正方形であれば正円となります。

background-image: linear-gradient(方向 , 色 , 色 ...)

グラデーションの設定

example - CSS

```
.wrap{
    background: linear-gradient(
        to right,
        #eeda90,
        #f44848
    );
}
.box{
    background: linear-gradient(
        to bottom right,
        #eeda90 0%,
        #f44848 20%
    );
}

.container{
    background: linear-gradient(
        45deg,
        #eeda90 0%,
        #f44848 50%,
        #662299 100%
    );
}
```

background プロパティを使ってグラデーションを使用出来る様になりました。他ブラウザや互換性を考慮すると、ベンダープレフィックスを追記する必要があります。(サンプルでは省略) linear-gradient は線状のグラデーションを指定する事が可能です。円状でのグラデーションは別途、radial-gradient を使用することで表示することが可能です。